

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話 (一) 九二九
印刷 印刷局
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十四日
一紙一円

鎌田山上水問題

有識者間に究明の聲

平市鎌田山上水施設に對し理由が事實無根なりとすれ
反對の聲が擧げられて居るが相當實績を擧げつゝある
のは事實であるが現給水市長を傷つけんとする
長就任以來故意に給水量を悪くし謀略としてこれ亦
落して新設工事を行う動機不問に附す可からず、いつ
としたとする反對理由の一例にしても真相を早急に明
つは、一部有識市民層の間かにせざれば一般市民に對
に大きな衝動を與へて居るしても反對筋市當局共に實
即ち右の反對理由が若し責任を果したとはいへまいと
實とすれば、一刻も不問に
附す可きでない、又此反對

平飲食店界

現況一般

平市にも新様式に依る飲食も盛良く、高ければ板前の
店の閉店或は改装が此所非腕を頼らねばとは某飲食店
常が目立つて来たが現在の主の談で有る
業界一般の景氣はどんなも
のでも有らうかと打診して
見ると一般的にいつて奮登
後の閑散は否み難く店によ
つては大きな赤字になつて
未だ來ぬ秋風を身に泌みて
去る十六日大浦村大字大森
といつた店主も有る一面、
常連の固定した食堂型の店
味と勉強と宣傳とで動かぬ
所まで来た店は安定性が有
る、唯最近の傾向としては
いわゆる戦前の状態に戻つ
て安ければ味は第二として

神谷の赤子殺し

女教員の赤子殺し 實弟と結んだ不義の子

去る十六日大浦村大字大森
といつた店主も有る一面、
常連の固定した食堂型の店
味と勉強と宣傳とで動かぬ
所まで来た店は安定性が有
る、唯最近の傾向としては
いわゆる戦前の状態に戻つ
て安ければ味は第二として

廿日に歸港

四倉カッオ船
四倉町新町鈴木常松さん所
有のカッオ船東日本丸(百
ト)は赤道直下の最後の
カツオ漁を終えカツオ五千
貫を積んで十九、廿日中歸
港すると十七日無電連絡が
あつた

中學排球

30日赤井一中で
第三區中學校男子バレー大
會は來る卅日午前九時より
赤井一中で開かれるが参加
校は内郷一、二中、赤井一
二中、好間中、川前中、小
川中、補買中の八校である

大島勝己氏死去さる

東大附屬病院治療科に入院野洋一、小笠原正二、加藤
加藤中であつた大島勝己氏イニ、鈴木昇次、榎田文男
は直腸癌と診斷されて、十渡邊憲治、梅井芳昭、吉田
五日以來病勢俄に重なり十八博道、小島久仁子、渡邊三
日午後五時遂に死去された枝、本村啓子、高木ケイ子
全氏は本社編集主任の要職藤田よし、九頭見をみ子、
た筆致は斯界の注目を浴び齋藤友子
て居た、随つて前途に多く
の期待を持たれて居たので
今回の悲報は各方面より其
他界を惜まれて居る、行年
四十九才

學校音楽コンクール

24日平一小で發選
縣音楽教育連盟、郡山市芳
山小學校共催縣下第四回小
中學校音楽コンクール平地
區發選は廿四日午前九時か
ら平一小講堂で開く。種
奏等

湯本の優良

赤ちやん
湯本町では十五日去る七月
赤ちやんは赤ちやん
赤ちやんは赤ちやん
赤ちやんは赤ちやん

小兒科 呼吸器科

町のとさわ洋裁を卒業後永學校に轉任し教鞭をとつて
戸村小學校に助教をしていいたが夏休み以後は脚氣と
たが廿三年の四月に神谷小稱し缺勤率が多かつた

社告

2日金坂二中で
第二回少年野球大會
内郷町、少年愛護連盟では
十八日午後四時から彼場會
議室で理事會を開き優勝権
爭奪第二回秋季少年野球大
會につき協議した結果、來
る二十四日午前八時から金
坂二中グラウンドで行ふこ
に決つた、尚主將會は二十
一日午後四時から

赤鉛筆

繼母との折合悪
く家出した少年
を愛した手には
擁した平標前と
きわ主人松本幸
太郎氏の美學は近來の明
いニユースとして人々を何
かしらはつとさせるものが
あつたがこうした事は個人
の手のみには任せて置かる
可き問題ではないと思つ、
公共団体内の關係筋は松本
さんの見ておられぬといつ
た愛情、社會人としての良
識を學ぶ可きと痛切に感
づる、お役目するのでな
くして之等不幸の少年を放
置出來ぬといつた、熱意を
持つ事が肝要である、次代
の成人、少年に深い關心を
示さない、社會は民主的な
一片の温床も持たせぬ、
公共性の無いエゴイストの
集りと斷せられても己を
得まい

火防宣傳標語並に作文募集

懸賞
標準 應募資格 市民、内容、火防宣傳の主旨を織
込んだもの 賞 一等一名一〇〇〇圓 二等二名
五〇〇圓 三等三名二〇〇圓 佳作若干
作文 應募資格 市内小、中學校児童生徒、内容
題は隨意(火防宣傳にちなんだもの)長さは八百字
以内(賞 一等一名五〇〇圓(小中學校各一) 二
等二名二〇〇圓 三等三名一〇〇圓 佳作若干
締切 九月末日(發表十月八日(編島縣防火週間))
平市消防署前及市内日刊新聞誌上 一、宛先
平市消防署内懸賞係但し作文は各學校に
於て取りまとめること 審査員 平市消防長
平市消防署長、平市消防團長 馬目武之助、小松茂
山森正一、金成キミ

ライトインキ

外国製にも
劣らぬ品質
魁文堂
用筆年萬
特賣專

酒の店

自慢とんかつ
支店
角五丁目
吉田屋
電 220
パンと
洋菓子
才糖小路
ベーカー東京堂
電 210X

死の谷 聚楽館

21日★-25日
コロラドの谷に相抱く
血の接ぶん
悲壯さわみなき西部劇
ジョエル、マックグレイ 主演
ヴァージニア、メイヨー
ラオウル、ウォルシュ監督
ウォーナブラザーズ映畫

平 暑拾得調にビツクリ 現金だけで百余万円

平市署ではこの程廿三年春係員が曰く「一体この處分は去る十一月常磐線廣野驛發足以來の遺物整理を行つたところ百拾万二千」と會計さん構内轉帳簿の欄ポルトを盗たところ百拾万二千というも思案投首の体、一方貴重現金のほか時計だけでも廿品は時計を別にスミスとか廣野町下北迫宇釜同町小學校六年生(三)を逮捕した

石城に馬の傳染病 五年ぶりの發生

徹底的防疫に着手

石城郡上遠野村根岸農畑田者に對し事前に警告を發し勸一さん所有の四才牝馬と海軍關係の無事故の徹底を同村洞坂農油産吉さん所期している

クラブ活動研究

平第二中で開く同地方には珍しい傳染性貧血症にかゝつてゐることが判明、ただちに屠殺處分の廿日午後一時半から平二中手續きをとつた、尙この傳染性貧血症は五年振りのもので石城地方事務所では十日八日管内町村に豫防策としてDDT、BHCをさん布

旅館に藝妓の出入を陳情

市ではこの程市内廿九旅館業者の要望として旅館に藝妓の出入を許さう風俗管業取締法第三條の制限緩和の方を縣公安員長に陳情した

小名保安部で

漁業關係者に警告廿五日にサンマは解禁となるが、小名浜海上保安部では操業區域違反、無許可など漁業法犯則行爲の取締りに乗り出すと共に漁業關係

★學校便り★

平市内小中學校研究協議會は二十日午後一時半から第二中學校で開かれる

★映画だより★

○聚樂館……「荒原の女」
十七日……廿日「死の谷」
廿一日……廿五日
○平館……「七つの寶石」
十七日……廿五日
○世界館「羅生門」
十八日……廿四日
○平文化「女醫の診察室」

ニユース

東(東) 西(西) 茶を進めながら不審を抱いた同駐在巡查が尋ねたところ同郡石崎村下石崎農大月新(30)で同人の

話によると……大月は農の傍ら食用蛙取りをして生計をしていたが、妻しづ江(28)が食用蛙の仲介人、行方郡秋津村井池田實(40)と關係が出来自分の衣類をまとめ三人の子供を置き去りに無断家出してしまった、子供達をかゝれた大月は乳幼児三人を道連れと親子心中をはかろうと附近の沼川鉄道線路をさまよひ死に場所を探し求めたが子供達はお父ちゃん何をするの」と泣きつかれ死にきれなかつたと云つてゐるので水戸地區署で保護中

最新式

ミキサ機

備へました、粉練機です
手で練るより衛生的然も良く
練れますからパンの味も
お美味しいのです

草野製パン所
草野驛前
電話草野十番

秋冬の注文洋服

良渡邊洋服店

本市三丁目紅小路
電話九五七番

本年の純毛品は先高必至、外見より内容、店構へに迷われず、經營費の少くて済む裏長屋の店ではそれだけコスト安で結局皆様のプラス
生地より仕立技術で洋服は生きる、着くすれぬ洋服は當店こそ……

味覺の秋

味わつて下さい
此 美 味
真心を買って下さい
此 勸 定
寛ろいで下さい
此 氣 分

煎茶 割烹 八四
町目 電九八四

波心

秋ぐちに多い

とびひに良く効く

クスリが有ります

平銀座通り(電44番)

阿康 あところ薬局

パン

平・五丁目 開花亭

電話342

最古の店史
最新の技術

外科 胃腸科

松村鐵郎

外科一般
整形外科
性病科 松村亨
皮膚科
肛門科
内科
胃腸科
呼吸器科
放射線科

平市南町
電話一〇七

くすり 今日元気

関内薬局

電話四〇平四

